

こども部会

連携グループ			保護者支援グループ		
1	スローウオーク	西村 徹	1	そらまめはうす	大野 直人
2	学校教育課	宿南 恵介	2	出石精和園	島田 真弓
3	たじま聴覚障害者センター	木村 弥生	3	障害者基幹相談支援センター	田中 美智子
4	社会福祉協議会	山田 美智子	4	絆	武知 直也
5	出石精和園	吉田 智子	5	社会福祉協議会	時 沙菜
6	ひみつきち	加藤 泰彦	6	出石精和園	西村 尚司
7	こども未来課	福田 寛子	7	北但広域療育センター	真狩 洋子
8	社会福祉課	細見 貴誠	8	はばたけ手をつなぐ育成会	成尾 美恵
			9	こども未来課	山崎 美紀

現状と課題

連携が必要

- ・ 児童にかかる福祉サービス利用申請者が倍増
- ・ 早期に発見し、発達とともに、課題が変化するので、卒業がなく療育が一杯になる。
- ・ 5歳児発達相談で、療育が必要な子が入れる集団療育がない。
- ・ 就学前に、集団療育を希望されるが、希望に添えない。

療育卒業後の居場所

- ・ 思春期年代の福祉サービスがない。
- ・ 本人の困りごとが続いている。
- ・ 支援者間の横のつながりや支援の内容が共有したい。
- ・ 本人のライフステージを切れ目なく、支援していきたい。

保護者の支援が必要

- ・ 障害がわかった時から、チームで支える仕組み
- ・ 親や祖父母が安心して、自信をもって子育てできるようになってほしい。
- ・ 今の現状について、もっと保護者の意見を聞きたい。

これからの**10**年の方向性

お話カフェ

- ・ テーマを決めた研修や気軽に情報交換できる機会
- ・ 施設見学を兼ねて、いろいろな事業所で実施

豊岡のいろいろな場で、
必要な支援が受けられるよう
に

- ・ 必要な方が、相談支援を受けられること
- ・ セルフプランの方が、困ったときに相談する先があること
- ・ それぞれの事業所が、次の支援につなげてくこと、
- ・ 必要な支援に、つながることがあたりまえになること

そのために、必要なこと

- ・テーマを決めた、**お話カフェ**の開催（4回/年）
7/10（小学校の就学について、準備すること）
9/21（中学・高校の選択と就労の準備）
11/4（障害のある児の中学校生活について）
1/17（その子にあった学習の取り組み方）
- ・情報交換会の実施
- ・7/14 障害福祉サービスについて、校園長会で説明
- ・10/24 市長ふれあいトークに参加
- ・

